

オンライン研修会のご案内

研修内容（詳細は裏面をご覧ください）

●2024年10月5日(土) 13:30~16:30

子どもを一人ぼっちにしない大人になるために
～「みんなの学校」が教えてくれたこと～

大阪市立大空小学校初代校長 木村 泰子 先生

●2024年12月7日(土) 13:30~16:30

プライマリ・ケアにおける家族支援

三重大学医学部 附属病院総合診療部・副部長、
名張地域医療学講座・教授 若林 英樹 先生

●2025年1月19日(日) 13:30~16:30

心理療法において家族に由来する感情的傷つきはどう扱われるのか
～Emotion Focused-Therapy の理論に基づいて～

iEFT Japan ・ 心理カウンセラー 野田亜由美 先生

● 参加費 協会員:5,500円/1回(税込) ※本協会の会員

一 般:6,600円/1回(税込)

- 申込締切日 (10/5 研修) 9月29日 (日)
(12/7 研修) 12月1日 (日)
(2025/1/19 研修) 1月12日 (日)

MiiT+(ミータス)へのログイン
新規登録は画面中央にあります

- 申し込み方法 参加費のお支払いをもって申し込みとします
決済システム「MiiT+(ミータス)」を利用して、研修会参加費のお支払いをお願いいたします。



- ZOOM ミーティング案内 参加費の確認ができた方には、開催日前の水曜日に
ミーティング ID・パスコード等を MiiT+(ミータス)ご登録のメール宛にお知らせします

- 修了証の発行 研修終了後、修了証を送信いたします

- 問い合わせ先 日本家族カウンセリング協会
japan.family.counseling@gmail.com メール QR コード



※ 締切日以降のお申し込みは、事務局までお問い合わせください。

NPO法人日本家族カウンセリング協会

東京都杉並区荻窪 5-18-11-101 TEL) 03-6383-5731 FAX) 03-6383-5732 HP) <https://www.j-f-c-a.org>

本研修会は(一社)家族心理士・家族相談士資格認定機構が定める継続研修細則 2条(2) b.ワークショップ・研修会(受講者:3時1P)の対象となります。

● 研修の内容 ●

■2024年10月5日(土) 13:30~16:30

子どもを一人ぼっちにしない大人になるために

木村 泰子(きむらやすこ) 先生

子どもの「自殺」「不登校」「いじめ」過去最多の今、子どもたちが困っています。

未来の宝が学び合うのがパブリックの学校です。パブリックの学校の最上位の目的は「すべての子どもの学習権を保障する学校をつくる」ことです。困っている子が困らなくなる「地域の学校」をつくるためにみんなで問い直しませんか。学校が変われば地域が変わる 地域が変われば社会が変わります。

子どもは大人の行動を見抜くプロですね。

◀プロフィール▶2006年に開校した大阪市立大空小学校の初代校長を9年間務める。

大空小学校では「すべての子どもの学習権を保障する」という理念のもと、教職員や地域の人たちとともに障害の有無にかかわらず、すべての子どもがいつもいっしょに学び合っている。2015年には大空小学校の1年間を追ったドキュメンタリー映画「みんなの学校」が公開され、大きな反響を呼んだ。この映画は文部科学省の特別選定作品にも選ばれ、現在も全国各地の教育現場などで自主上映されている。2015年春に、45年間の教員生活を終え、現在は講演やセミナーで全国の人たちと学び合っている。

◀主なご著書▶お母さんを支える言葉(清流社)、「見えない学力」の育て方(青春出版)、「ふつうの子」なんて、どこにもいない(家の光協会)、「ほんとのこと」は親には言えない(家の光社)、学校の未来はここから始まる(教育開発研究社)、「みんなの学校」が教えてくれたこと(小学館)、「みんなの学校」をつくるために(小学館)、「みんなの学校」から「みんなの社会」へ(岩波ブックレット)、「みんなの学校」から社会を変える(小学館)、21世紀を生きる力(水王舎)、「みんなの学校」流 自ら学ぶ子の育て方(小学館)、タテマエ抜きの教育論(小学館) 他多数

■2024年12月7日(土) 13:30~16:30

プライマリ・ケアにおける家族支援

若林 英樹(わかばやしひでき) 先生

プライマリ・ケアでは、身体のみならず心理、家族、地域も視野に、子どもから高齢者まで継続的な医療を提供するため、家族支援は非常に重要である。本講演では、臨床現場で家族を支援するための考え方、スキル、すなわち家族システム論、家族ライフサイクル、家族の構造や機能等について事例を踏まえてお話す。また、家族支援を専門とする心理職との協働の可能性についても議論したい。

◀プロフィール▶1995年徳島大学医学部医学科卒、淀川キリスト教病院・初期研修修了。総合診療医を志し、名古屋大学総合診療科医員、米国サンディエゴ大学大学院修士課程、UCSD 家庭医療学にて家族療法を修練。米国サンディエゴ大学大学院修士課程、UCSD 家庭医療学にて家族療法を修練。2008年~岐阜大学医学教育開発研究センター助教、総合在宅医療クリニックを経て、2014年より三重大学地域医療学講座講師、2019年より三重大学医学部亀山地域医療学講座教授、2023年より現職。プライマリ・ケアの将来を描いて活動中、特に家族システムと行動医学、医学教育に力を入れています。博士(医学)、米国家族療法修士、日本プライマリ・ケア連合学会認定医/指導医、日本家族療法学会認定スーパーヴァイザー、プライマリ・ケア医のための家族支援研究所(ファミラボ) 顧問

◀主なご著書▶ラダーと事例から学ぶ家族志向のケア~家族療法の考え方とスキルをプライマリ・ケアに活用する~、中外医学社、2024年、がん患者のケアマネジメント~在宅ターミナルを支える7つのフェーズ・21の実践中央法規出版、2015年他多数 その他の論文等:https://researchmap.jp/hideki_fopc

■2025年1月19日(日) 13:30~16:30

心理療法において家族に由来する感情的傷つきはどう扱われるのか

野田亜由美(のだあゆみ) 先生

★昨年度オンライン研修で立命館大学教授 岩壁茂先生に「カップルと感情~感情の衝突を感情的つながりに変える~」をテーマにEFTについてご教訓いただきました。第2弾の開催希望のお声が多く、岩壁先生にご相談しましたところ、一緒に臨床活動されている野田先生をご紹介いただきました。今回はEFT 第2弾として野田先生のご研究からご講義いただきます。(研修委員会)

心理療法を求める多くのクライアントが苦しむ感情的傷つきの背景には、しばしば家族に由来する心理的葛藤が存在する。統合的心理療法のEmotion Focused-Therapyの介入では、養育者との間で生じ、未完了のままとなった感情的な傷つきの体験や、家族間の関わりなどを通して醸成された自己批判に対して、体験的なワークが用いられる。本講演では、Emotion Focused-Therapyの基本的な感情理論を概説し、実際の心理面接でどのようなことが行われるのか、面接映像を用いながら解説を行う。

◀プロフィール▶お茶の水女子大学大学院人間文化創成科学研究科人間発達科学専攻博士後期課程を終了。これまでに総合病院精神科・心療内科・小児科でのインターンシップや勤務を経て、現在は大学での非常勤講師および小学校のスクールカウンセラーとしても活動中。博士(社会科学)、臨床心理士、公認心理師、国際認定EFTレベルAセラピスト。

● ミーティングによる決済が出来ない方の振込先:口座名義 NPO 法人日本家族カウンセリング協会研修会
郵便振替 00130-8-352278 / ゆうちょ銀行 当座 019店 0352278

◎振込みに併せて問い合わせ協会メール宛 ①氏名 ②研修会日 ③振り込み月日 ④当日視聴可能のメールアドレスをお知らせください。